

2026年1月19日(月) 送付枚数:2枚

東海地区で唯一の開催 世界最大規模のビジネスコンテスト『Hult Prize』学内予選大会 「On-Campus Program」を愛知学院大学で開催

2026年2月9日(月)、愛知学院大学(愛知県日進市、学長:木村文輝)において、毎年世界中から約20万人の学生が参加する世界最大級のビジネスコンテスト「Hult Prize(ハルトプライズ)」の学内予選大会である「On-Campus Program」を開催します。本大会は、東海地区では本学が唯一の開催地となります。

本取り組みは、本学経営学部・塗木ゼミを母体として結成された「Hult Prize 愛知学院大学運営委員会」が中心となり、企画から運営までを学生主体で行う点が大きな特徴です。今年は、学内から過去最多となる12チーム50名が参加する予定です。さらに、初の試みとして国連地域開発センター(UNCRD)、そして名古屋市役所企画局の方にも臨席いただく予定であり、実践的な学びの場となります。

本学は2026年に創立150周年を迎えるにあたり「知の共創、地域との共生 ～ともに創り、ともに生かし合う未来へ～」をステートメントとして掲げています。今回のような学生主体の取り組みを支援することで、社会や地域に一層貢献できる人材を育成するとともに、大学と地域が連携しながら新たな未来を創出していくことを目指します。

<学内予選大会「On-Campus Program」について>

- 日 時 : 2026年2月9日(月) 13時～16時(予定)
- 会 場 : 愛知学院大学 名城公園キャンパス アリスタワー7階
(愛知県名古屋市北区名城3-1-1)
- 内 容 : 各チーム持ち時間8分でSDGsに関連したビジネスアイデアを発表し、優勝チームが全国大会に進出します。
<スケジュール>
 - 2月9日(月): 学内大会(愛知学院大学 名城公園キャンパス)
 - 4月～5月: 全国大会(場所未定)
 - 7月～9月: 世界大会予選(オンライン/ロンドン)
 - 9月: 世界大会決勝(ロンドン)
- 主 催 : 愛知学院大学 経営学部
- 指導教員 : 愛知学院大学 経営学部 塗木講師

2026年1月19日(月) 送付枚数: 2枚

Hult Prize (ハルトプライズ) とは

Hult Prizeは、大学生・大学院生を対象にSDGsに焦点を当てたビジネスアイデアを競う、世界最大規模のビジネスコンテストです。本コンテストは国際連合(UN)が支援しており、毎年世界中から20万人以上の参加者が集まります。2010年から開催されており、毎年SDGsに関連したテーマが設定されています。このテーマに基づき、学生たちが社会問題を解決するビジネスアイデアを提案し、コンテスト形式で競い合います。このコンテストは、ビジネスの事業化を促進し、社会起業家を育成することを目的としています。学内大会で優勝すると、次のステップとして全国大会(Nationals)、さらに世界大会(Global Final)に進む権利を得ることができます。

①Hult Prize

<https://www.hultprize.org/>

②愛知学院大学 経営学部 塗木ゼミ

<https://kouhounuruki.wixsite.com/nurukizemi/hultprize>



Hult Prize 愛知学院大学運営委員会 メンバーのコメント

(運営委員会：水野 凜音)

このたび、東海地区で唯一、「学生のノーベル賞」と称される Hult Prize の On-Campus Program を開催できることを、大変光栄に存じます。グローバルに活躍する人材の育成を掲げる塗木ゼミのリーダーとして、ゼミ生にとどまらず、愛知学院大学に在籍する約12,000人の学生すべてに、世界へ挑戦する機会を提供したいとの思いから、「Hult Prize 愛知学院大学運営委員会」を立ち上げました。特に今年は、名古屋市に拠点を置く国際連合地域開発センター(UNCRD)ならびに名古屋市役所企画課の方にもご陪席いただき、開催できることを大変嬉しく思っております。愛知から世界へ羽ばたく第一歩として、本取り組みを今後も主体的かつ継続的に推進してまいりたいと考えております。

<内容に関するお問合せ>

愛知学院大学 経営学部 塗木講師

TEL: 052-911-1011 (代) E-mail: nuruki@dpc.agu.ac.jp

<取材に関するお問合せ>

愛知学院大学 総務部総務課 山本、古谷

TEL: 0561-73-1111 (代) E-mail: somu@dpc.agu.ac.jp